



2025年10月21日
第051号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第1号

「職場実態と本人のキャリアプランを無視した不当転勤を許さず、安全で安心して働ける職場を求める」申し入れ団体交渉を行う！①

1.「割ピンを割るのが早い」という異動の懲罰を行ったにも関わらず、割ピンを使用しない職場へ異動となった経緯について示すこと。

【会社回答】異動については、就業規則に則り取り扱うこととなる。

組 合	会 社
異動懲罰の中で「割ピンを割るのが早い」という発言があったか。またその意図は？	割ピンの話があったことは承知している。あくまで経験する機会の少ない作業に長けていることを例にして、たくさん経験が積まれているということをお伝えしたかった趣旨。
会社からこの件について副所長に話は聞いたのか。	所長に話は聞いている。
所長からは話を聞いているが本人から話は聞いたのか。	聞いていない。今まで主張されているような内容のことは既にご本人とやり取りされているので承知している。実際把握していないというわけではない。
異動の意識付けが玄関前で行われるのは不適切ではないか。	一回目は話しやすい環境だと判断した。不適切だとは考えていない。人がいないことは確認している。
当該の場所は人の往来もある。人はいなかったかもしれないが、いつ人が来てもおかしくない状況だ。	場所について特に指定するものではない。但し他に人がいない状況が良い部分があるので、場所については考慮するよう現場には話をした。実際2回目以降は会議室等で行われていると聞いている。
話しやすい場所、気軽に話したいのは管理者側であって、社員の思いに配慮していない。	それぞれの考えの社員がいる。居酒屋で意識付けの話をされて、気軽にリフレッシュして聞けた過去もある。
管理者側と社員の異動に対する認識にズレがある。	不適切とは言えないが、振り返れば反省すべき点はあった。本人とギャップが大きかったことは認める。

2.「中原に行っても何もステップアップしない」、「国府津に行ってもらって助かった」という、他職場を軽視した発言の意図について明らかにすること。

【会社回答】他職場を軽視する意図の発言を行うことはしない。

組 合	会 社
「中原支所に行っても何もステップアップしない」という発言の意図は。	中原支所と鎌倉車両センターでは同じような業務をやっている。総合車両センターでコアな部分を学んだ方が良いのではという認識のイメージで話している。
他区所との比較が入ってくる。本人からすれば面白くない。	「中原支所」「車両センター」とかではなく、「総合車両センター」という大きな視点で言うべきだったと反省点はある。
「国府津に行ってもらって助かった」という発言については。	既に異動された社員が本人希望となっており、その希望通りになって良かったというイメージで話している。
「行けて良かった」なら理解できる。「助かった」とは？誰が助かったのか。	言葉だけではすごく違和感がある。意図としては申し上げた通り。
この言葉が出てしまうことが問題では。	「行ってもらって助かった」は言っていないという認識。「いなくなってもらって助かった」という意味でもなく、他職場を軽視していない。異動した社員に関しての話をしている。
受け止め側からすると、意図が無ければ何を言っても良いのか。	そもそもその趣旨で言っていない。他職場を軽視することはない。申し入れ通りの発言をしていない。その前後のやり取りも見れば特段違和感のないやり取り。
申し入れの発言が違うとは。	中原に関して言えば「臨修も長くやって何でもできるから中原よりもステップアップに繋がる方が良いと考えている」、国府津に関しては「国府津の職場風土も良いところだよ」と伝えている。会社としては中原に関しては発言が異なり、国府津に関しては持ち合わせる記録がない。
撤回する考えはあるか。	撤回する必要性は感じていない。
異動懲罰の在り方をめぐって申し入れにまでになっている。その発端は管理職のコミュニケーションの取り方に課題があったということか。	貴側の主張等を踏まえればそうなんだろうと思う。課題というか、それが起因しているということについてはそうなんだろうと思う。

次号②へ続く